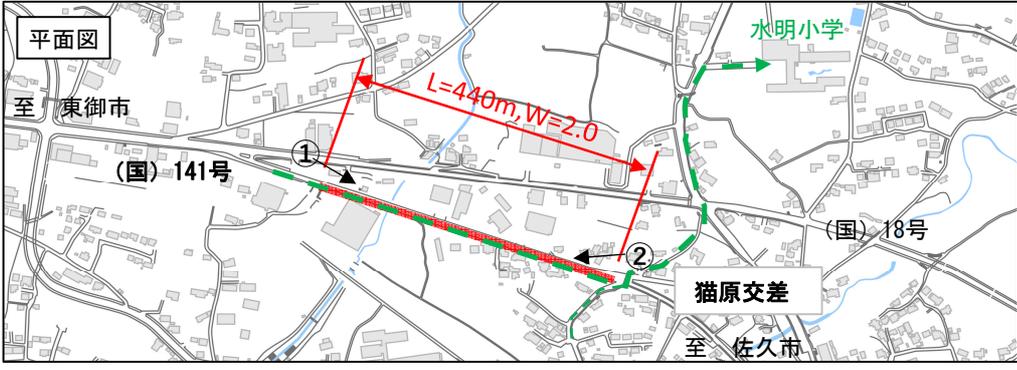
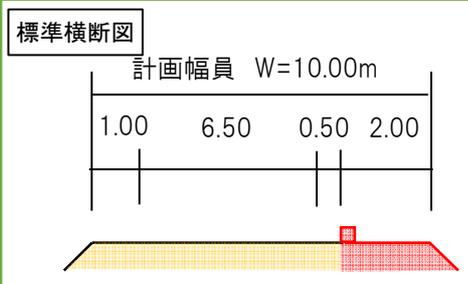


(様式1-2)新規評価シート

事業名		道路環境対策(交通安全施設等整備)		路河川名等		国道141号		
事業毎の通番		1	市町村名	小諸市	箇所名(ふりがな)		猫原(ねこはら)	
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-6 ① 交通安全対策の推進		SDGsの関連目標				
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン 通学路交通安全プログラム		関連する事業プロジェクト		長野県交通安全実施計画		
	現状と課題	当該区間は、交通量が多く、歩道の整備が十分ではないため、通学する小中学生、日常生活に利用する地域住民の安全性の確保が課題となっている。 このため、歩行者等の安全の確保及び交差点における安全性及び円滑性の確保が必要である。						
	事業目的	歩行者等の安全確保のための歩道整備を実施し、事故発生の低減を図るものである。						
着手年度	2023年度(令和5年度)	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)	2026年度(令和8年度)				国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容	歩道設置工 L=440m W=2.0m			100,000	55,000		40,500	4,500
事業概要								
								
	 <p>① 現況歩道及び未設置区間</p>		 <p>② 猫原歩道橋より猫原交差点を撮影</p>		 <p>標準横断面図 計画幅員 W=10.00m 1.00 6.50 0.50 2.00</p>			
事業効果	主な受益対象	自動車:15,007台/日(計画交通量)、自転車:16台/日(現況交通量)、歩行者:94人/日(現況交通量)						
	期待される効果	通学路の安全確保 交通事故の減少			費用便益比 B/C	算定対象外		
計画熟度	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	通学路合同点検により今後の通学児童の利用見込みを確認。 伸び率による計画交通量を用いて計画しており、車両通行に対して、将来的にも十分な活用が見込まれる。						
	地域からの要望経緯及び地域の関わり	H30年度通学路合同点検及びR3年度通学路緊急合同点検箇所 小諸市を通じ区から要望書が提出されている。						
事業説明等の経緯	令和5年1月に関係者に説明							
評価結果	所管課の意見	R3年度通学路緊急合同点検箇所のため、早期に歩道整備を実施し、安全な歩行空間を確保する必要があるため、事業着手が妥当であると判断する。				妥当性評価※	優先度評価※	
	政策評価室の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。				○	4.3	
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手		

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)